



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

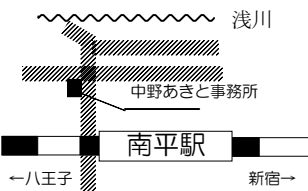
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2021年
4月発行

第220号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



市内を駆け巡る あるが精一 市長予定候補

有賀 せいいち



▲高幡不動駅前

3月25日、あるが精一候補は宣伝カーで市内を駆け巡り、車から降りて政策を語りました。

あるが候補は、公共事業にメスを入れ競争入札を適正にするだけで数億円の節約となり、学校のトイレ洋式化、全小中学校の体育館へのエアコンを設置、18歳まで所得制限なしで医療費無料化ができると政策を訴えました。

夕刻は、高幡不動駅前で宣伝。マイクを支援のメンバーに渡すと、「おかえりなさい、私が有賀です」と駅から出てくる市民にチラシを手渡しました。

市政を歪めた究極の官民癒着
3月20日開示された市立「たかはた保育園」の民営化に関する新たな資料によると、この事業には官民が癒着した「推進チーム」が存在していたことが明らかになりました。

この「推進チーム」は、市役所と開発業者、保育園と診療所が入居する複合施設の建主(地主)などが癒着・一体化した組織で、その統括責任者は河内久男元副市長でした。こうしたもので民営化予

算が異常に膨れ上がるなど、数々の疑惑が発生しました。河内元副市長は、地主の「代理人」も勤め、保育園建設と同時に、保育園民営化事業とは無関係の診療所の建設という二つの目標を推進しました。馬場市長(当時)をはじめ、市の関係者は、河内氏が公務員として絶対に許されない利害関係者の「代理人」となっている事を承知しながら、事業全体の「統括者」

「たかはた保育園」の民営化事業に 「推進チーム」があった

市長選と同時に行われる市議補選 (4月11日告示)

わたなべ三枝さんが決意

渡部

みつえ

【プロフィール】

1958年 福島県生まれ(62歳)
1977年 福島県立坂下高校卒
1980年 大垣女子短期大学卒
1977~80年 東亜紡績株式会社勤務
1980~99年 都立の障がい者施設で保育士として働きながら日本共産党員として職場、地域で活動
現在、日本共産党日野市委員会子育て支援室長

市内 旭が丘在住



日本共産党日野市委員会
子育て支援室長

紡績工場で働きながら短期大学を卒業して資格をとり、35年間都立の障がい者施設で働いてきました。コロナ禍で子どもや女性、障がいをもっている方々などの負担が重くなっています。市民のくらしを支える政治の役割が大きく求められているときに、汚職・腐敗などなどでもありません。政治を変えましょう。これまでの経験を生かし、子どもたちを安心して育てられる日野市をつくっていきたくと決意しています。

わたなべ三枝



許せない！大坪市長のユーチューブ動画 「私が解決します」は事実を逆さまに描く

市議会議員 中野あきと

大坪冬彦市長は、市長選向けに発信されたユーチューブ動画「大坪冬彦公式チャンネル」で、「私が、解決します」とのフレーズを多用しています。選挙コンサルタントが入って採用されたキャッチフレーズだったとしても、事実を逆さまに描いて演出するなど、あまりにも悪質です。河内久男元副市長に支払われていた日当6万円のヤミ手当は解明を打ち切り、逮捕の根拠とされる事業計画水増しによる補助金詐欺問題は、警察に委ねることにしました。

また、「たかはた保育園」民営化の補助金を5倍化するなど数々の不正疑惑については、河内氏の関与を熟知し、また市長自ら当事者であるにも関わらず、「把握していない」「記憶は定かでない」と隠し、ごま

かし答弁を重ねてきました。「解決する」どころか、ごまかしながら幕引きを図ろうという態度そのものではないでしょうか。極めつけは3月議会の一般質問の最後でした。

大坪市長が病院まで出向き、河内氏にお礼を言いに行ったとされる証言が出ていることについて、「事実か、それとも記憶にないのか、正直にお答えいただきたい」という私の質問に、市長から返ってきたのは次の答弁です。この答弁が、すべてを物語っていると思います。

市長は、「解決する」姿勢も立場も、もはや持ち合わせていないと断ぜざるを得ません。

3月市議会

私（中野）の質問に対する市長答弁

私が病院にいったお礼をしたという記憶はございません。

ただ、完了したことについて…えー、あるいはちょっと、はっきり記憶にはございません。

言ったともいわないとも、お礼に行ったかどうか何とも言えませんけれども、あのー、ちょっと記憶にはないことでもあります。

といってそれはお礼を言いに行ったということを否定するものではありませんが、お礼に行ったという記憶は特にございません。

新型コロナウイルス

「第4波」封じ込めへ日本共産党の提起 補償と検査に本気で取り組み

新規感染者の増加傾向が続くなか、日本共産党は「第4波」を封じ込めるために、緊急に補償の抜本的強化と大規模検査に本気で取り組みことを政府に求めました。日野市でも感染が拡大しています。コロナ禍でお困りの方々へのくらしの支援、休業の補償、重症化リスクの高い高齢者施設などでの定期的な検査をすすめられるよう全力をつくします。

営業自粛要請に対し補償の抜本的強化をただちに

一律1日4万円の協力金では存続できない飲食店もあります。規模に応じ存続できるだけの協力金が必要で、保障のない納入業者、生産者などにたいする持続化給付金は一回で終わりとせず、第2弾の実施しが求めます。

感染を封じ込める大規模検査を進める

政府は大規模検査は言うものの、高齢者施設や医療機関などの社会的検査は自治体任せです。職員への検査は、専門家も指摘するように「週1回」は必ず必要です。モニタリング検査の実施状況は、政府目標の1日1万件にすら全く届いていません。1日10万件へと桁の引き上げが必要です。

《日野の風物詩》（その4）

壮観！ 広大なJR東日本の豊田車両センター



最大収容は460車両

下り電車でJR中央線の豊田駅を出ると、左手に電車の車両がある広大な風景を見ることができます。東平山にあるJR東日本「豊田車両センター」（車両基地）です。

乗車している電車から見ると「広いな」とは思いますが、その全体を見ることはできません。しかし、この車両センターを俯瞰するとその広大さを実感でき、合わせてたくさんの線路、車両なども見ることができます。その面積は何と約9万9000平方メートル（約3万坪）で、留置線23本や検査線など合わせて34本の線路があります。そして最大の収容数は460車両です。

ここは1963年（昭和38年）に「豊田駅電留線」として使用が開始され、当初の収容は40車両でした。現在の「豊田車両センター」になったのは2007年（平成19年）です。

【2021年5月の無料法律相談日】

- 6日（木）午後6～8時 中野あきと事務所
 - 13日（木）午後1～3時 日野市役所6階共産党控室
- お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042
- ◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

ぜひ、お読みください。

「憲法を市政に生かすみんなの会」パンフレット 元副市長らによる「不正事件」の真実

このパンフレットは市民のみなさんに、問題の真実を知っていただき、市政を立て直すために力を合わせていただきたいとの思いでつくられたものです。

ご購入の方は 中野あきと事務所まで

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所